

ゲンティン・マレーシア (GENM)

マレーシアの活動制限令は「回復期」に移行。9月以降のリゾート施設営業再開に伴う業績回復が見込まれる

マレーシア | カジノ、ゲーミング | 業績フォロー

BLOOMBERG GENM:MK | REUTERS GENM.KL

- 2020/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比28.5%減、純利益が赤字転落。調整後EBITDAが同48.0%減だった。
- 3月中旬以降のマレーシア政府による活動制限令(MCO)に伴うカジノやリゾート運営閉鎖の影響が業績を直撃した。
- MCOは6/9以降8月末までの適用期間で「回復期」に移行した。9月以降のリゾート施設の営業再開により業績が回復すると見込まれる。

What is the news?

5/21発表の2020/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比28.5%減の19.55億MYR、純利益が前期の2.53億MYRから▲4.53億MYRへ赤字転落。ただし、減損損失や事業売却益など一時的要因の影響を除いた調整後EBITDAは同48.0%減の3.55億MYRだった。新型コロナウイルス感染拡大に対応したマレーシア政府による3月中旬以降の活動制限令(MCO)に伴うカジノやリゾート施設の一時的閉鎖の影響が直撃した。

セグメント別の調整後EBITDAは以下の通り。①レジャー・ホスピタリティ部門のマレーシアが前年同期比40.4%減の3.31億MYR。②同部門の英国・エジプトが同44.4%減の2,280万MYR。英国およびエジプト政府の命令によるリゾート・ワールド・バーミンガムとクロックフォード・カイロの閉鎖が響いた。③同部門の米国・バハマが同77.7%減の1,470万MYR。3月中旬以降の政府の命令によるリゾート・ワールド・カジノ・ニューヨークシティ(RWNYC)およびリゾート・ワールド・ビミニの閉鎖のほか、子会社のエンパイア・リゾーツ株式に係る減損損失を1.00億MYR計上したことが響いた。④不動産部門および投資・その他部門が前年同期の2,150万MYRから▲1,330万MYRへ赤字転落となった。

How do we view this?

マレーシアで3/18から発動された活動制限令は5/4に条件付き活動制限令(CMCO)に移行後、6/9に8月末までの適用期間で学校を含むほとんど全ての経済・社会活動を正常化する「回復期」に移行した。ただ、国民の海外渡航と外国人の入国は原則禁止が続き、娯楽施設などの営業も禁止措置を継続するとされた。したがって、カジノやテーマパークその他、主力のマレーシアからのレジャー・ホスピタリティ収入は9月以降の回復が見込まれよう。また、英国でデジタル・カジノ事業を手がけるゲンティン・ベット社はコロナ禍の最中でも収益を伸ばしていくことが期待される。当面のコロナ禍の難局に対し、人件費や不要不急の資本的支出削減を含む様々な積極的なコスト管理措置の導入を図る方針である。2020/12通期の市場予想は、売上高が前期比32.9%減の69.19億MYR、当期利益は前年同期の13.95億MYRから▲2.08億MYRへの赤字転落である。

業績推移

※参考レート 1MYR=25.10円

事業年度	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12F	2021/12F
売上高(百万MYR)	9,324	9,921	10,314	6,920	9,973
純利益(百万MYR)	1,161	-19	1,395	-208	921
EPS(MYR)	0.20	-0.00	0.25	-0.05	0.15
PER(倍)	12.71	-	10.55	-	17.33
BPS(MYR)	3.41	3.22	3.27	3.08	3.11
PBR(倍)	0.76	0.81	0.79	0.85	0.84
配当(MYR)	0.09	0.11	0.11	0.11	0.15
配当利回り(%)	3.46	4.23	4.23	4.19	5.65

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(MYR)	0.11	(予想はBloomberg)
終値(MYR)	2.60	2020/6/15

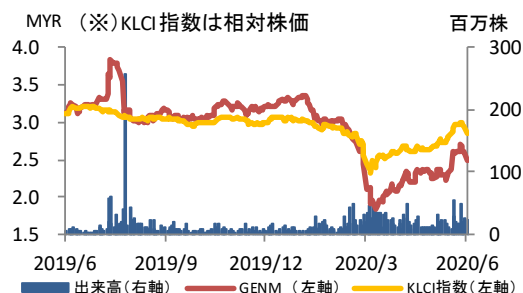
会社概要

1980年設立。ゲンティングループの企業で、統合型リゾートを世界的に展開している。マレーシア唯一の公認カジノを併設した「リゾート・ワールド・ゲンティン(RWG)」やNY市の「リゾート・ワールド・カジノ・ニューヨーク・シティ(RWNYC)」、バハマの「リゾート・ワールド・ビミニ」や英国の「リゾート・ワールド・バーミンガム」、エジプトの「クロックフォードカイロ」などを運営する。英国ではカジノのリーディング企業として、ロンドンに6拠点のほか、郊外の35拠点でカジノを運営している。また、マレーシアのランカウイ島やトレンガヌ州にはシーサイドリゾート施設を保有する。

同社は2013年より、リゾート・ワールド・ゲンティンの拡張のための10年計画「ゲンティン・インテグレートッド・ツーリズム・プラン(GITP)」に取り組んでいる。ホテル、ケーブルカー、エンターテインメントコンプレックス、アウトレットモール、屋内テーマパークなどを新設し、カスタマー・エクスペリエンスを向上させている。

企業データ(2020/6/16)

ベータ値	1.26
時価総額(百万MYR)	14,698
企業価値=EV(百万MYR)	18,790
3か月平均売買代金(百万MYR)	51.0



主要株主(2020/6)

1.ゲンティン	49.45
2.オーバースー・チャイニーズ銀行	3.42
3.VANGUARD GROUP	2.02

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
+81 3 3666 6980
kazuhiko.sasaki@phillip.co.jp

李 一承
+81 3 3666 0707
icheng.lee@phillip.co.jp

2020年6月16日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>